

令和8年度事業計画

1 基本方針

那珂川町シルバー人材センターは令和8年4月1日、設立20周年を迎えました。この間、会員はもとより役職員並びに町をはじめ関係各機関にはご支援、ご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、少子高齢化が急速に進展し労働人口が減少している中、元気な高齢者が地域社会に参加し活躍できる「生涯現役社会」の実現が求められています。その一方でシルバー人材センターは、定年の延長、継続雇用制度の普及により会員の確保が難しい状況にあり、今後、益々運営は厳しくなるものと予想されます。

こうした中、物価高騰やデジタル化の急速な進展に加え、「公益法人制度改革」や「新たな契約方法への移行」への対応については、センター運営の喫緊の課題となっています。特に、当センターは、令和8年4月から「特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律（フリーランス法）」の施行により契約方法を包括契約に移行することとしていますが、それに伴うデジタル化等についても円滑に進める必要があります。

また、令和8年度は、「第2次中期計画」の初年度となることから、前計画の「会員の拡充」、「就業機会の拡大」、「安全・適正就業」、「運営基盤の強化・充実」の4本の柱を引き続き基本目標とし、創意と工夫を凝らした事業を展開してまいります。

今年度においても、シルバー人材センターの基本理念である「自主・自立、共働・共助」の原点に立ち、町や関係機関と連携しながら、会員、役員、職員が一丸となって、事業の推進に取り組んでまいります。

2 目標数値

会員数	202人
契約金額	74,800千円（派遣事業を含む。）
就業率	61.9%

（※「第2次中期計画」の目標値とした。）

3 事業実施計画

（1） 会員の拡充

① 新規会員の拡充

ア 会員の口コミ活動による「1人1会員入会運動」を推進します。

イ ホームページ、チラシ等による会員募集の広報活動を推進します。

ウ 各種イベントへの参加やボランティア活動、地域活動を通じた入会促進を図ります。

② 女性会員の拡充

ア 女性会員及び未加入女性を対象とした講習会の開催や入会キャンペーンを

実施します。

イ 女性会員の就業の場が見込まれる家事援助事業等、福祉分野での就業先等の開拓を図るとともに、女性が加入しやすい環境づくりに努めます。

③ 退会者の抑制

ア 退会を希望する会員に対しては、個別に聞き取り等を行い、退会抑制に取り組みます。

④ 魅力あるセンターづくり

ア 就業機会の確保、提供に加え、高年齢者に興味のある講習や体験会を開催するなど、魅力ある事業運営を推進します。

イ 入会動機の達成感や仕事の内容等の満足度を調査し、会員の生きがい就業を応援します。

(2) 就業機会の拡大

① 事業所等のニーズに対応できる人材の育成

ア 事業所等においても多様化する地域ニーズに対応するため、会員の就業能力の向上に向けた技能講習会を実施します。

イ 技能職会員との共同就業により後継者育成に努めます。

② 就業相談会の開催

ア 未就業会員を中心とした就業相談会を開催し、就業機会の提供に努めます。

③ ワークシェアリングの推進

ア 会員の希望と能力に応じた就業機会をより多くの会員に提供できるよう、ワークシェアリングを推進します。

④ 独自事業の創出

ア 会員が現役時代に培った技術や知識、経験等を生かした「独自事業」について、調査・研究します。

⑤ シルバー事業内容の見える化

ア 利用者に分かりやすいシルバー事業の取扱い内容や標準的な所要経費等の明確化に努めます。

イ 多様な分野の発注者等の要望や問合せ等に対応できる情報収集能力と情報発信能力の向上に努めます。

(3) 安全・適正就業

① 安全意識の徹底

ア 安全講習会の実施。

イ 安全に関する情報を提供します。

ウ 刈払機による事故防止の徹底を図る。

② 熱中症予防対策

ア 熱中症対策として、可能な限り夏期の早朝就業や時間短縮就業を推進し

ます。

③ 適正就業の推進

研修等を通じてマナーの向上、適正就業の徹底を図ります。

ア 職種別によるマナー・技術等の研修を実施します。

イ 多くの会員に就業機会を提供するため、ローテーション就業とワークシェアリング（仕事の分け合い）に取り組み、就業機会の適正化を図ります。

ウ 会員及び発注者に対して、「シルバー人材センターの適正就業ガイドライン」の周知徹底を図ります。

④ 健康管理の推進

ア 作業前の準備運動の励行、フレイル対策トレーニングを推奨します。

イ 定期的な健康診断の受診など、会員自らの健康管理を推奨します。

（４）運営基盤の強化・充実

① 財政基盤の強化

ア 受注の拡大による自主財源の確保に努めるとともに、行政への財政支援を要請します。

イ 経費の削減に努めます。

② 業務運営の効率化

ア 事務のデジタル化を進め、事務処理の効率化・簡素化を進めます。

イ デジタル相談窓口を設置し、業務の効率化を図ります。

③ 組織体制の充実強化

シルバーの基本理念に基づき、会員の自主的な運営が図られる体制づくりと組織体制の充実に努めます。

ア 総会、理事会、委員会活動の活性化を図ります。

イ 班活動の活性化を図り、会員の責務と連帯意識の高揚を図ります。

（５）20周年事業

① 設立20周年事業を行い、広くセンターのPRを行う。